

防災まちづくり意見交換会(土手崎・三十丁地区) 概要

開催日時: 令和2年6月2日 19:00~20:30

開催場所: 土手崎分館

参加者: 地区住民(合計22名)

大郷町: 千葉参事、浅野課長、伊藤課長、他(2名)

事務所: 小川出張所長、阿部出張所長、間山課長、保田係長
菅原(事業監理)

土手崎分館



<内容>

間山課長の挨拶の後、阿部出張所長が粕川地区災害復旧工事の概要と進捗状況について説明し、引き続き小川出張所長が堤防補修(凸凹対策)工事の進捗状況について説明を行った。

- ① 粕川地区災害復旧工事の概要と進捗状況
- ② 堤防補修(凸凹対策)工事の進捗状況

▶ 主な質問・意見等

- ・ 台風19号の際、前川排水機場の排水能力が不足していたのでポンプ能力をアップして欲しい。
- ・ 区長を通じて要望しているが、右岸の堤防の方が高いので、左右岸とも同じ高さにして欲しい。
- ・ 堤防高さの測量・調査した結果について報告はあるのか。また、調査結果を踏まえて、どのくらいの高さで嵩上げするのか。
- ・ 越水しても簡単に土が流されないようにして、決壊しない堤防を造って欲しい。
- ・ 下流の方に川底の高い箇所があるが、川底も掘削するのか。それとも川岸の出っ張っている部分だけ掘削するのか。
- ・ 土手崎地区も三十丁地区も、町の中心部のところで越水が発生しており、6~7千万円もするような高価な農機具が浸水被害に遭っている。民家の多い町の中心部を重点的に改修し、堤防を強化していただかないと安心して暮らせない。
- ・ 避難に役立つような情報を早めに住民に知らせて欲しい。
- ・ 行井堂堰を可動堰に改築して、ゲート操作で洪水調節できるような施設を作って欲しい。
- ・ 洪水時に車や農機具を避難させることができる場所(側帯)を作って欲しい。
- ・ 高城川を改修して、松島町の方にも吉田川の水を半分くらい流せるような河川改修をして欲しい。

防災まちづくり意見交換会(鶉崎地区) 概要

開催日時: 令和2年6月3日 19:00~20:45

開催場所: 鶉崎生活センター

参加者: 地区住民(合計11名)

大郷町: 千葉参事、伊藤課長、他(3名)

事務所: 小川出張所長、阿部出張所長、間山課長、新保技官
菅原(事業監理)

鶉崎生活センター



<内容>

間山課長が挨拶のあと令和元年度台風19号の概要について説明し、阿部出張所長が粕川地区災害復旧工事の概要と進捗状況を、小川出張所長が堤防補修(凸凹対策)工事の進捗状況について説明を行った。

- ① 令和元年度 台風19号の概要
- ② 粕川地区災害復旧工事の概要と進捗状況
- ③ 堤防補修(凸凹対策)工事の進捗状況

▶ 主な質問・意見等

- ・ 越水対策で堤防を嵩上げするということが、右岸側の鶉崎(袋)地区でも越水した箇所があるのに何も対策されていない。右岸側の鶉崎(袋)地区の堤防についても嵩上げして欲しい。
- ・ 鶉崎(袋)地区の堤防の上を通ると、堤防が波打っている。国交省は、ここの堤防をわざと低くしているのではないかと思うほど、低い箇所がある。
- ・ 堤防を嵩上げしても、結局、鶉崎(袋)地区は遊水地になってしまう。排水機場はあるが、越水しそうな水位になると国交省からポンプを運転しないよう指示されるというが、それは本当の話しか。
- ・ 今の排水機場の施設では、能力不足だ。過去の洪水や今回の洪水を踏まえた排水ができるように、ポンプの能力や性能をアップして欲しい。
- ・ 旧堤防と新堤防の間を埋め立てした広い場所があるが、洪水時には車や農機具を避難させる場所として使わせて欲しい。また、アスファルトで舗装して欲しい。
- ・ 子供たちが遊べるような施設とか、川に親しみを持てるような活動とか、そうした視点の施策にも取り組んで欲しい。